

2025 年 8 月 7 日

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「がん細胞 Warburg 効果を標的とした核酸医薬の開発研究」への協力をお願い

消化器外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2023 年 1 月 1 日～2025 年 7 月 31 日の間に、当科において、腫瘍摘出手術を受けられた消化器癌（食道癌、胃癌、膵癌、肝臓癌、大腸癌）および乳癌の方。

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2028 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：がん細胞は酸素があっても主に解糖系でエネルギーを産生する代謝の特徴があり、これを Warburg 効果といいます。手術検体の腫瘍組織における PTBP1 関連蛋白の発現をウエスタンブロットや免疫染色で評価することで、siR-PTBP1 誘導体による Warburg 効果の抑制に対する有効性を推測できます。PTBP1 の発現抑制効果をもつ最適化 siR-PTBP1 誘導体により Warburg 効果を抑制する核酸創薬を目指します。

研究に用いる試料・情報の項目：Western Blot、免疫染色による PTBP1 関連蛋白の発現の評価

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

患者背景（性別、年齢、身長、体重、抗がん剤の投与量、ステージ分類、がん種、遠隔転移の有無、既往歴、併用鎮痛薬、化学療法レジメン、術式）

臨床検査値（TP、ALB、AST、ALT、Cr、HbA1c、T-Bil、CRP、Neut、WBC、Lymph、HGB、PLT、APTT、PT、CEA、CA19-9）

自他覚症状

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2025 年 8 月 8 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご

安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科

氏名：松橋延壽

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科

電話番号：058-230-6235

氏名：松本圭太

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp